

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

冬が一気に訪れ、ついに国家試験まで100日を切りました。来春の診療報酬改定を前にして、「No.186」でお話した“週刊東洋経済の特集”をきっかけに薬局への逆風が吹きはじめ、薬剤師の必要性を疑う方々がさまざまな発言をしています。

そもそも、どの職種も不必要な仕事はないはず。ただ、社会の変化とともに仕事のスタイルも変えていかなければいけません。薬剤師はそれが遅れているだけ、というのが私の解釈です。薬剤師は比較的安定志向の人が多いようですが、せっかく活躍できる舞台上がったのですから、ここは仕事を見せ、変化を受け入れましょう。患者さんをまっすぐ見て、しっかり話を聞いてください。待合室に人が増えたときほど、落ち着いてください。患者さんは落ち着いた人から薬を受け取りたいものです。そこには安心が付いているからです。

そして、安易に転職しようと思わないでください。確かに選ばなければ転職は難しくないでしょう。しかし、転職を重ねても思っているより待遇は大きく変わらないものですし、どこの職場でも何かしら不満はあります。また、不自然に高い給与が載っている広告は餌の可能性があるので簡単に食いつかないでください。怪しいエージェントに薬剤師が食べ物にされることだってあるのです。

薬剤師として自信を持って落ち着いて患者さんに対応をしてください。ともに逆風を乗り越えていきましょう。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子